

SST型 自閉 片引き 面付けスチールスライドドア

SSU型 自閉 片引き 面付けステンレススライドドア

SL-2H150 仕様

取付け要領書

⚠ 注意事項

- ・ 施工する前のドアや枠材は直射日光の当たらない場所へ保管して下さい。保管の際は、長時間の横積み状態はなるべく避けて下さい。ドアやパネルが反ってしまう恐れがあります。
- ・ 持ち手や引き手にぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、持ち手等が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ・ 錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ・ 錠つきの場合、ラッチを出したままドアの開閉をしないでください。ラッチに当りケガをしたり、錠受けが破損する原因となります。
- ・ ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなります。
- ・ 扉を吊る前に、表面材の養生シートを“剥がして”おいてください。特に裏側については、吊り込み後には大変“剥がし難い”状態になります。
- ・ レールおよびレールベース取付けの際に発生する切粉は、吸引やエアブローなどで完全に除去してください。
- ・ 掃除の際には柔らかい布やスポンジなどを使い、金属タワシや金ペラなどの使用は避けてください。
- ・ 金属ヘラやタワシなどで擦ると、表面のアルマイトが傷つき、腐食の原因になります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。

09502-A0F-001-10

目 次

工事手順について

1. 開口枠の取付け	-----	1
2. 煙がえしの取付け	-----	2
3. 方立て・副体の取付け	-----	3
4. 方立ての取付け	-----	4
5. レール下地の取付け	-----	5~6
6. ボルト化粧枠の取付け	-----	7
7. レール部材の組立て	-----	8
8. レールの組み付け	-----	10
9. 扉の部材取付け	-----	11
10. 扉の吊り込み	-----	12
11. 制動装置の組立て	-----	13
12. 扉の各種調整	-----	14~15
13. レールカバーの取付け	-----	16

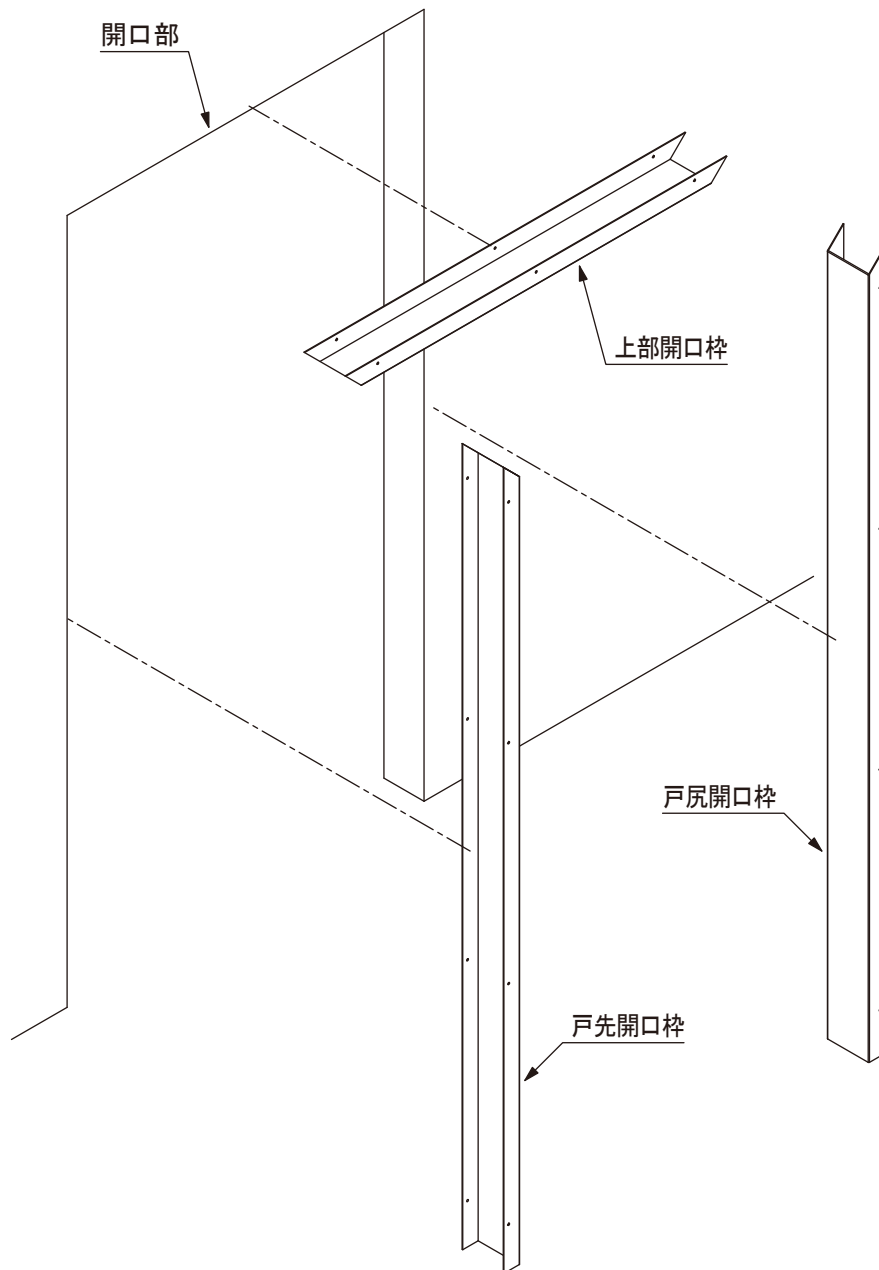
オプションについて

1. サニタリーカバーの取付け	-----	9
2. シリンダー/サムターンの交換方法（美和ロック FG錠）	-----	17
3. シリンダー/サムターンの交換方法（ゴール SX錠）	-----	18

工事手順について

1. 開口枠の取付け

1) 開口枠とパネル開口部の寸法が合っているか確認してください。

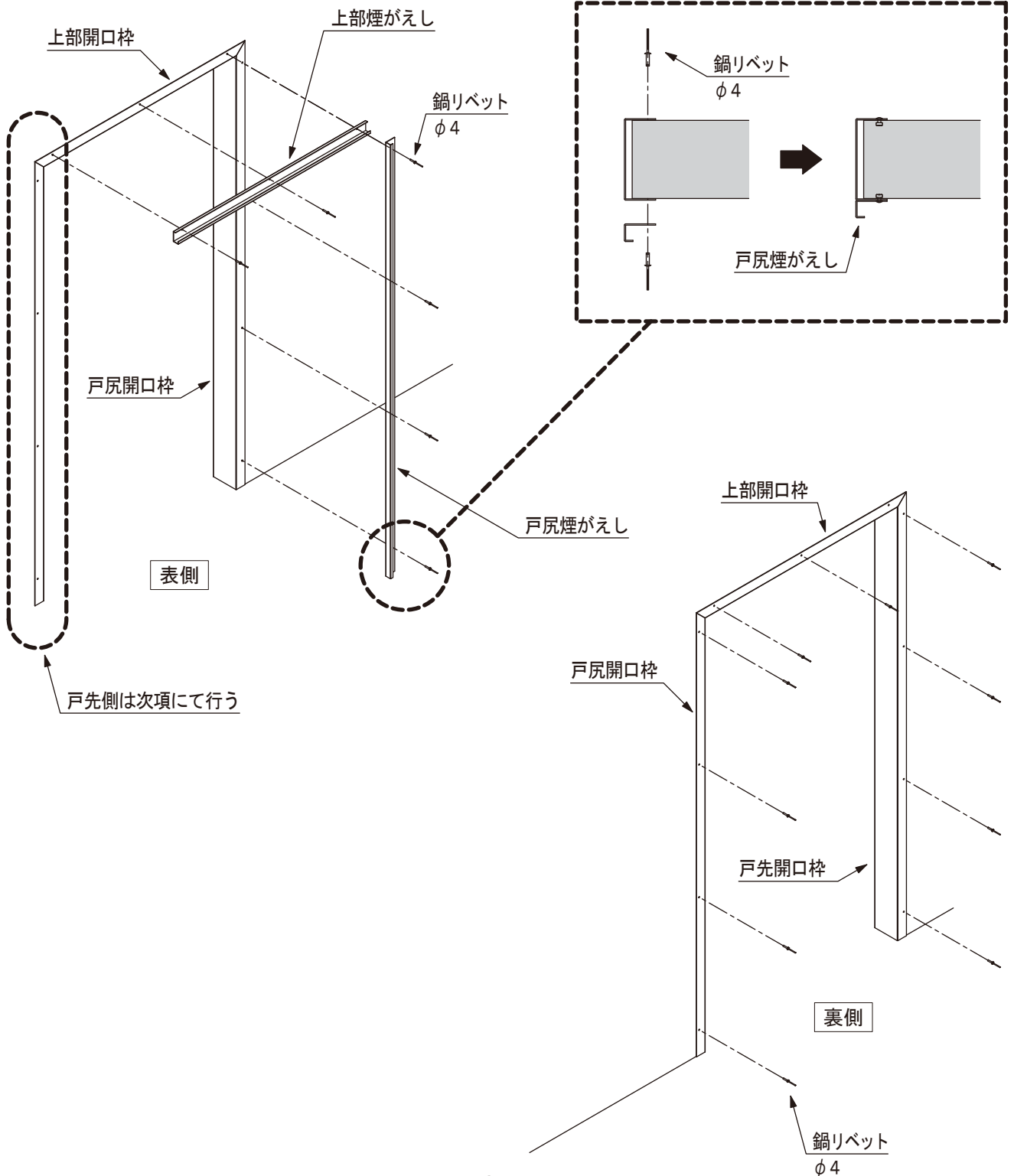


工事手順について

2. 煙がえしの取付け

- 1) 開口枠をパネル開口部にリベットで固定してください。
- 2) 上部と戸尻側の煙がえしについては共締めにします。
戸先側の固定は次項にて行うので、ここでは固定しません。
裏側についてはすべて固定をします。

※ W寸法、H寸法、対角を確認した上で固定してください。



工事手順について

3. 方立て・副体の取付け

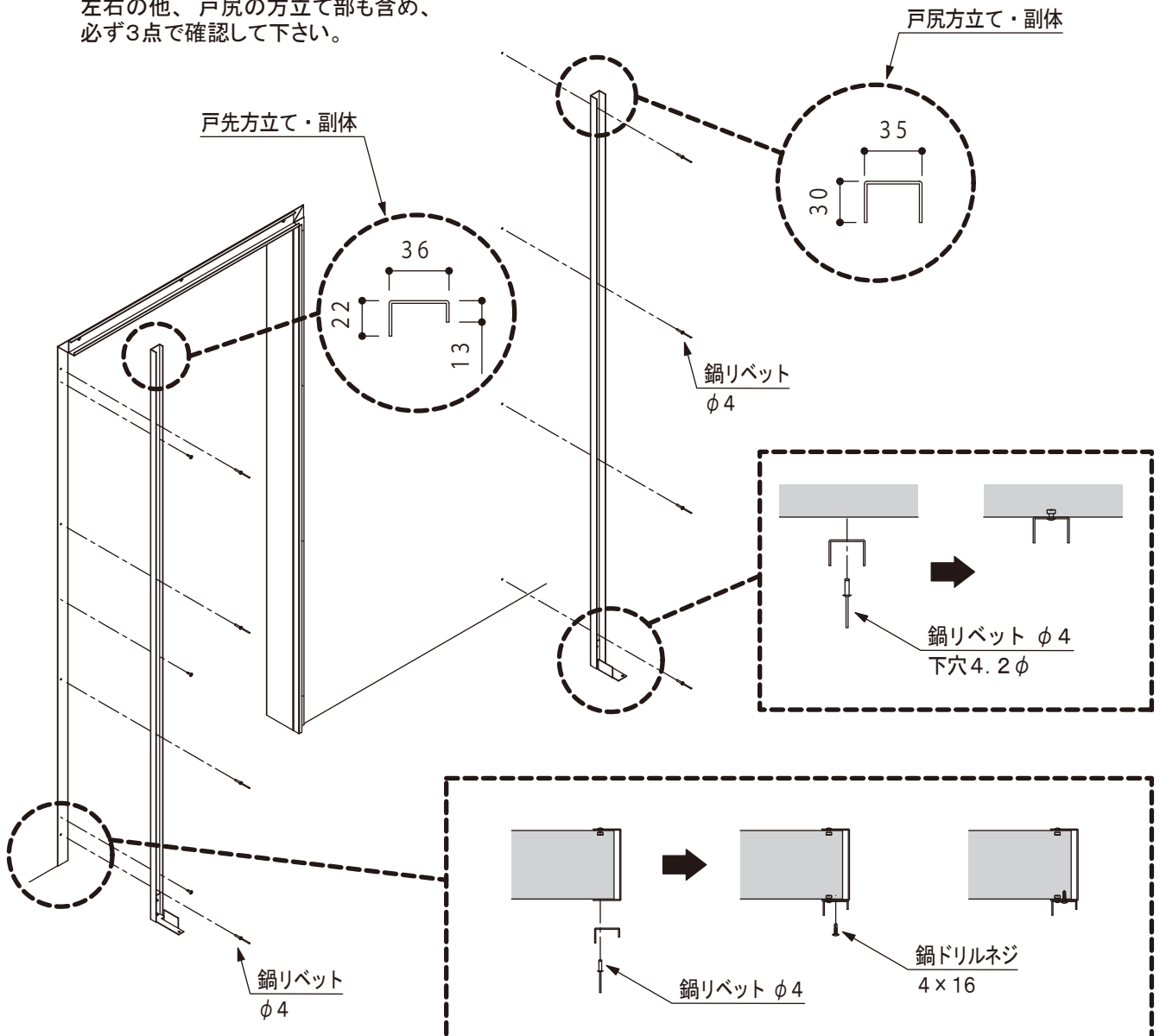
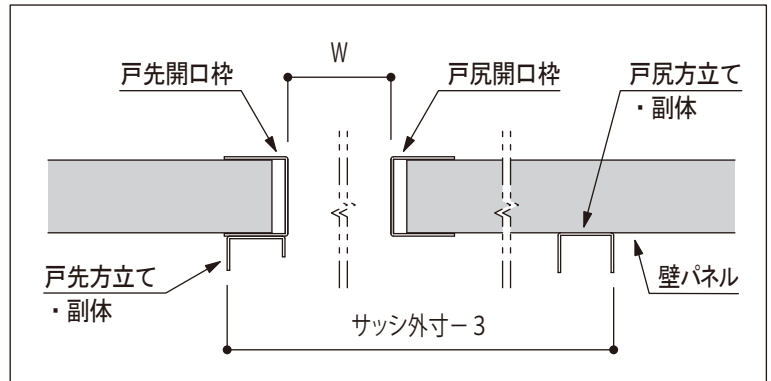
1) 戸先方立ての副体下部を開口枠にリベットで固定してください。
その後、さらにドリルネジで固定します。

2) 戸尻方立ての副体を壁パネルにリベットで固定してください。
その後、さらにドリルネジで固定します。

※ 戸先方立てと戸尻方立ての距離が「サッシ外寸-3mm」になる位置に固定してください。

※ 取付け時には位置出しを正確に行なってください。

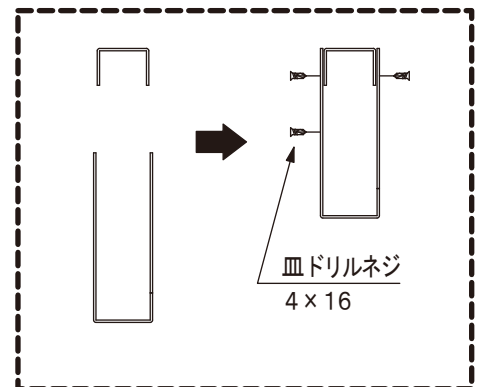
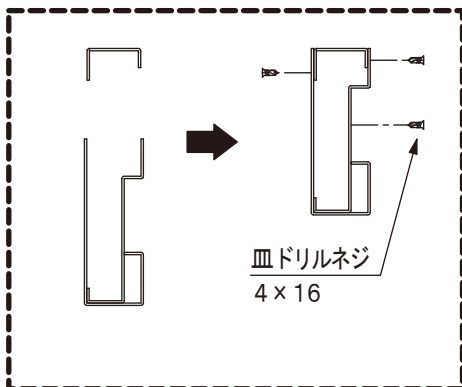
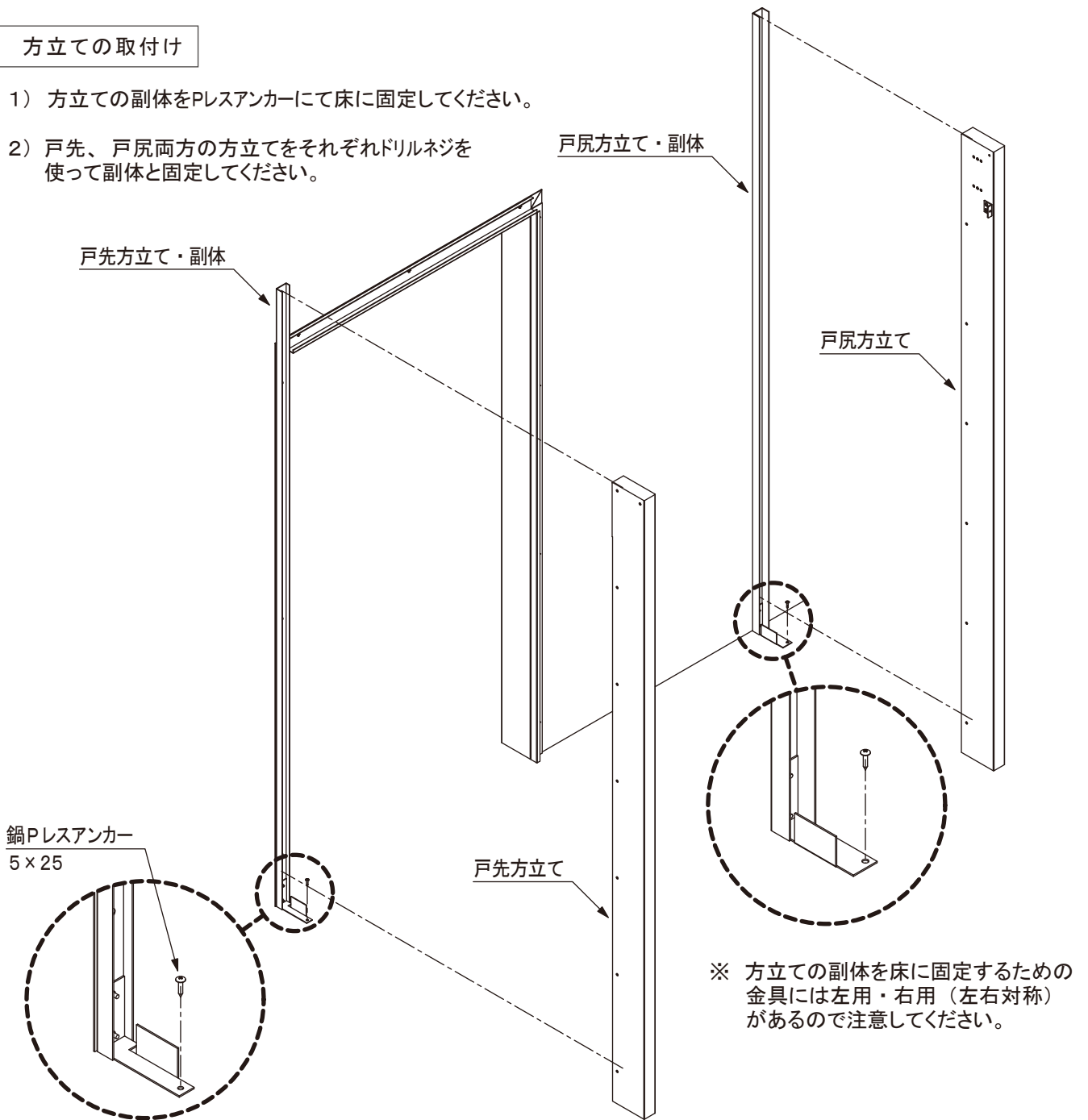
※ 床レベルを確認する際は、開口の左右の他、戸尻の方立て部も含め、必ず3点で確認して下さい。



工事手順について

4. 方立ての取付け

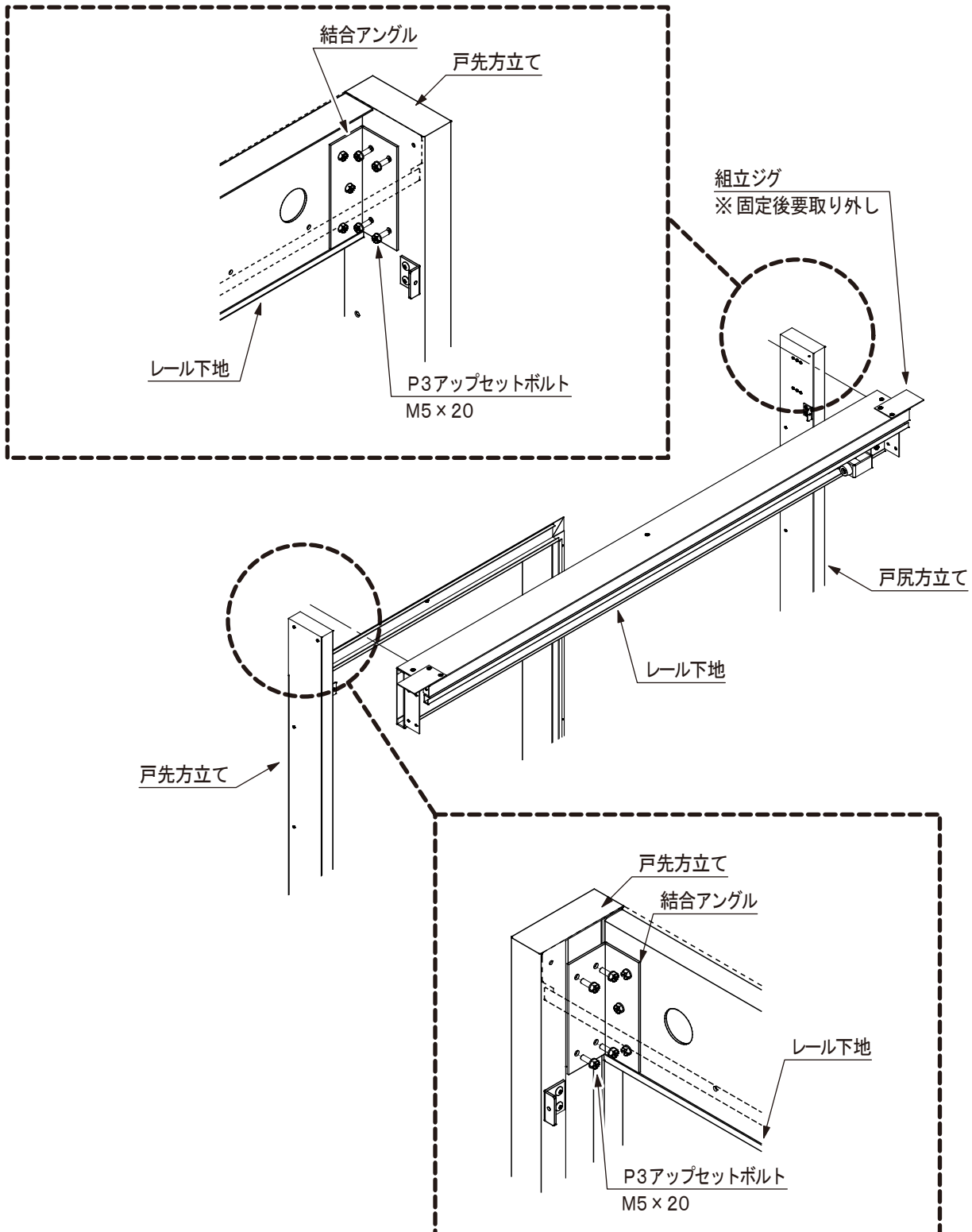
- 1) 方立ての副体をプレスアンカーにて床に固定してください。
- 2) 戸先、戸尻両方の方立てをそれぞれドリルネジを使って副体と固定してください。



工事手順について

5. レール下地の取付け

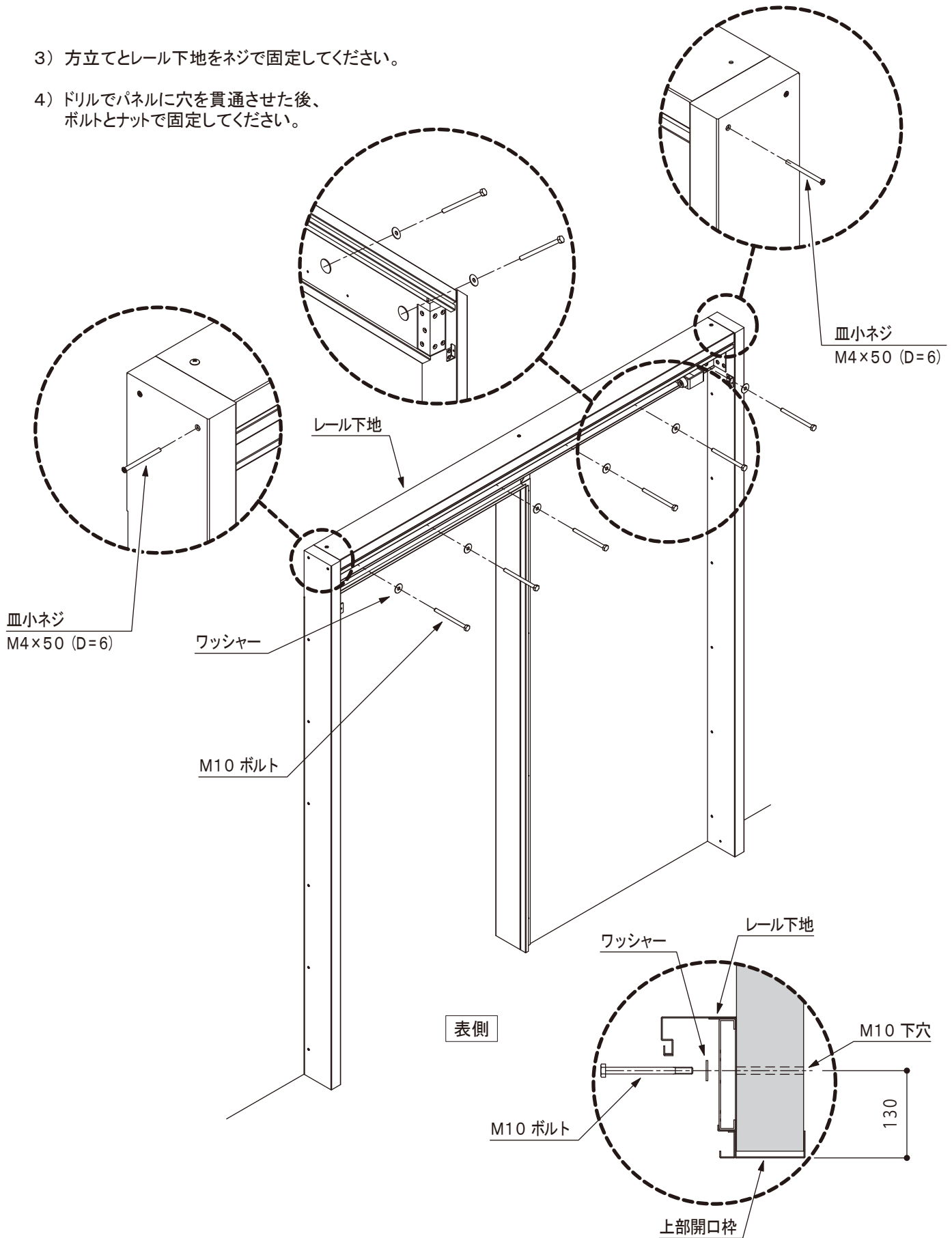
- 1) レール下地は結合アングルを使って内側からネジで固定してください。
戸尻のストッパーが邪魔になる場合は一度取り外してから作業してください。
取り外したストッパーは作業終了後に必ず元に戻してください。
- 2) 組立てジグは作業終了後に取り外してください。



工事手順について

3) 方立てとレール下地をネジで固定してください。

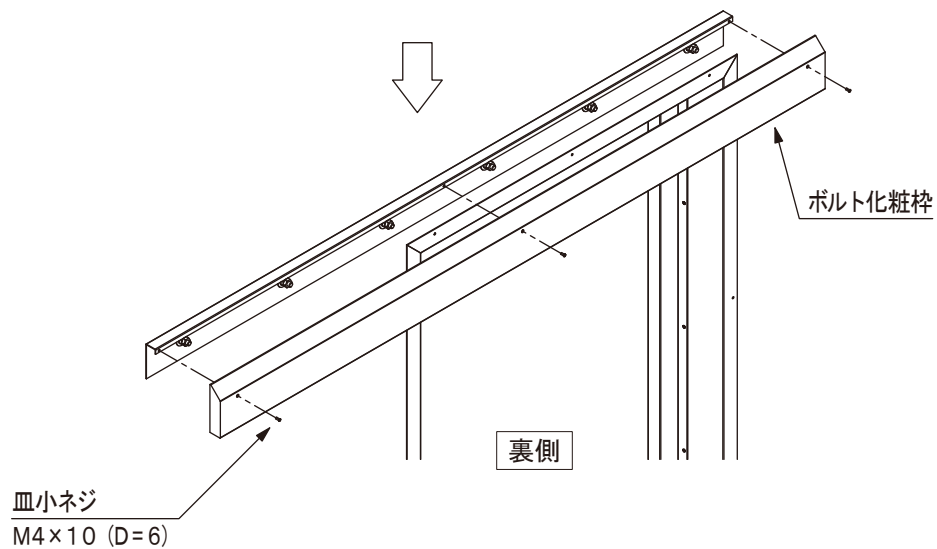
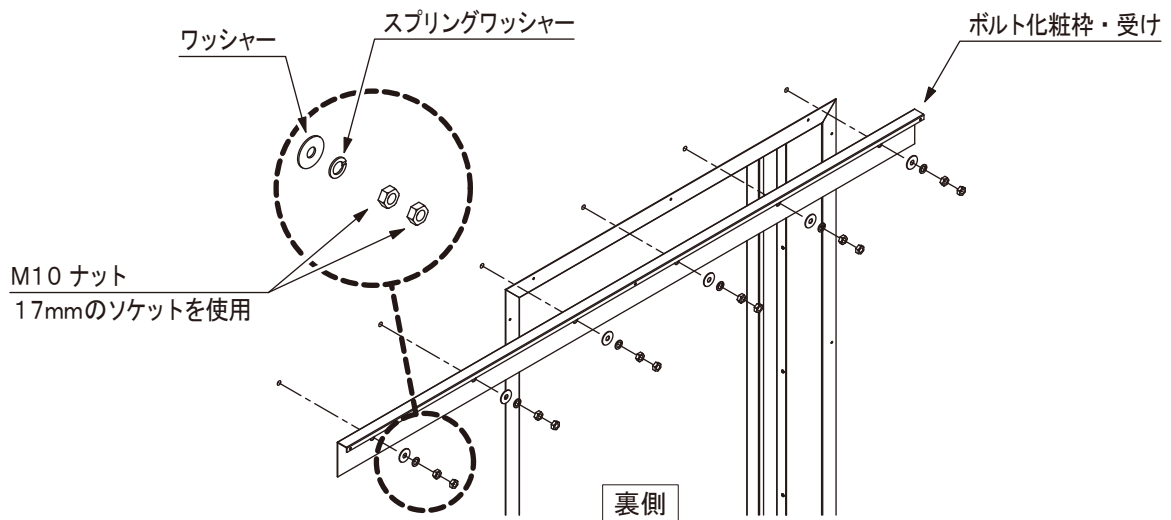
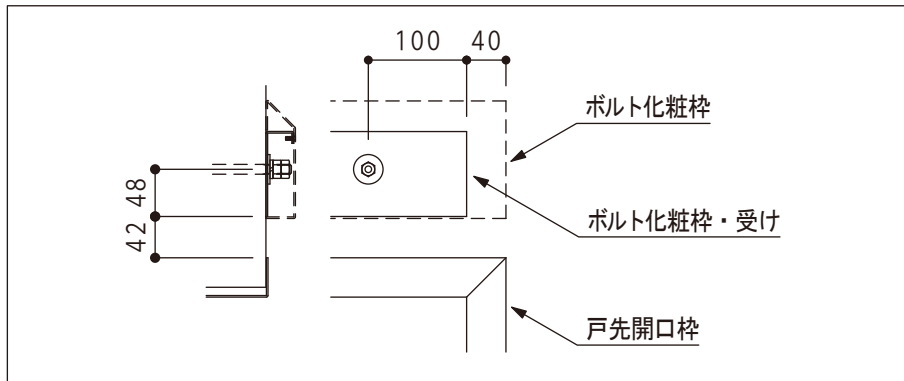
4) ドリルでパネルに穴を貫通させた後、ボルトとナットで固定してください。



工事手順について

6. ボルト化粧枠の取付け

- 1) ボルト化粧枠が付属する場合はパネルに穴あけ加工をした後に、ボルト化粧枠・受けをはさんでからワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順で固定してください。
ダブルナットは必ず行なってください。
- 2) ボルト、ナットを固定した後、ボルト化粧枠を取付けてください。



工事手順について

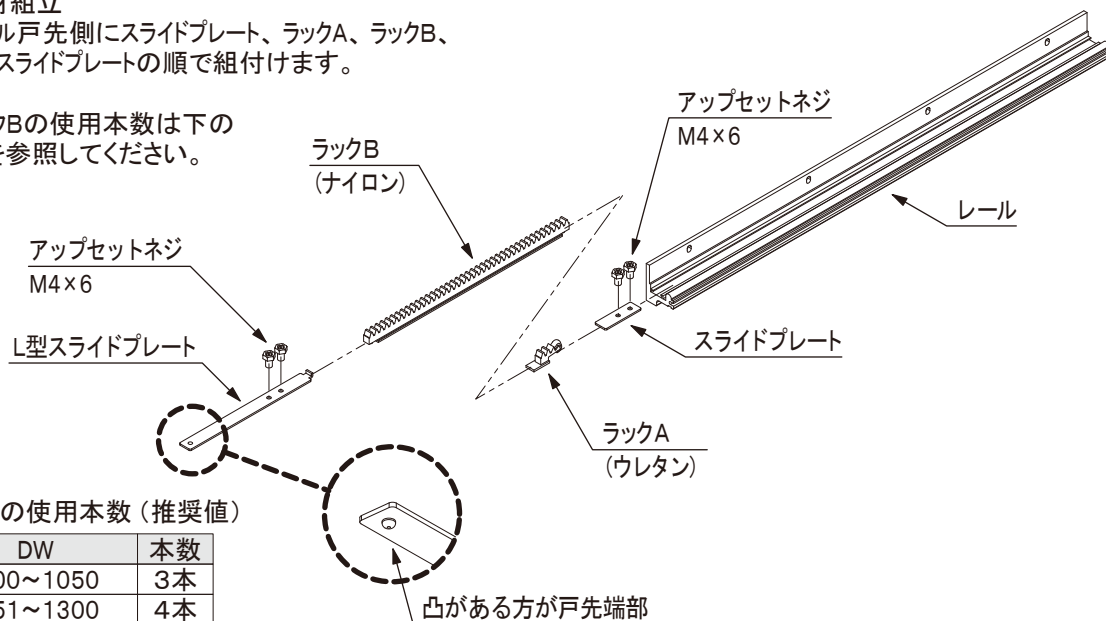
7. レール部材の組立て

1) ラックユニットの取付け

① 部材組立

レール戸先側にスライドプレート、ラックA、ラックB、L型スライドプレートの順で組付けます。

※ ラックBの使用本数は下の表を参照してください。



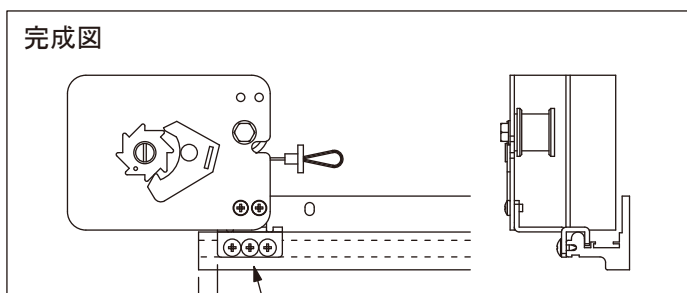
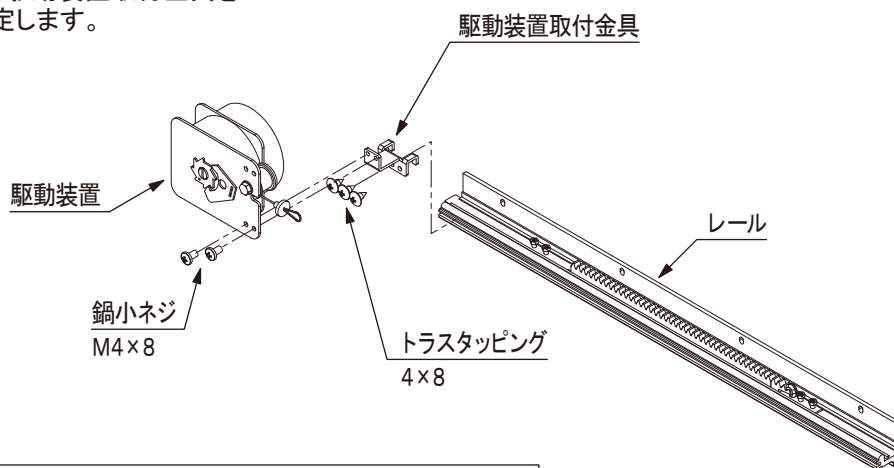
ラックBの使用本数 (推奨値)

DW	本数
900~1050	3本
1051~1300	4本
1301~1500	5本

※ 推奨値よりも多く入っている場合があります。

② 駆動装置の固定

駆動装置と駆動装置取付金具をレールに固定します。



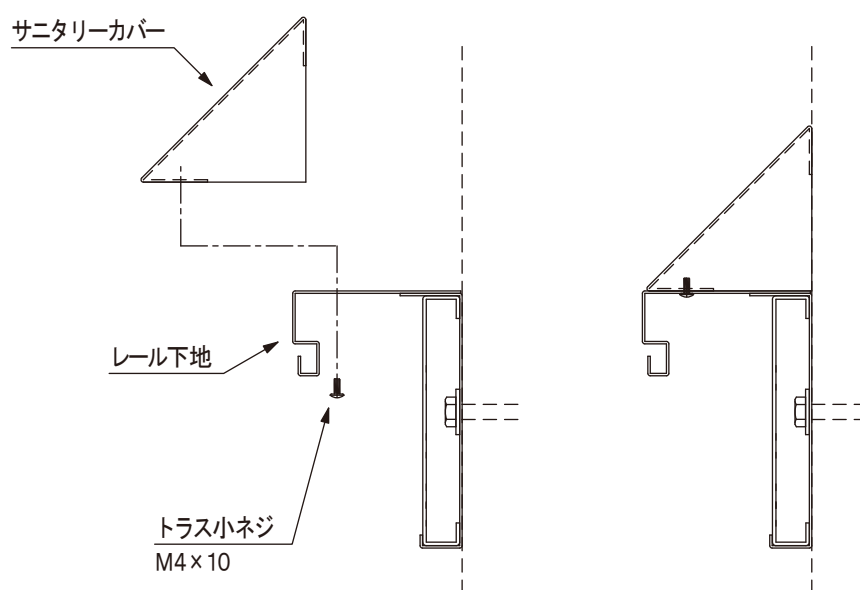
10 レール端部から10mmほどあけたところに駆動装置取付金具がくるように固定

オプションについて

1. サニタリーカバーの取付け

※ サニタリーカバー付の場合、レール部材をレール下地を取付ける前に、この作業を行なってください。

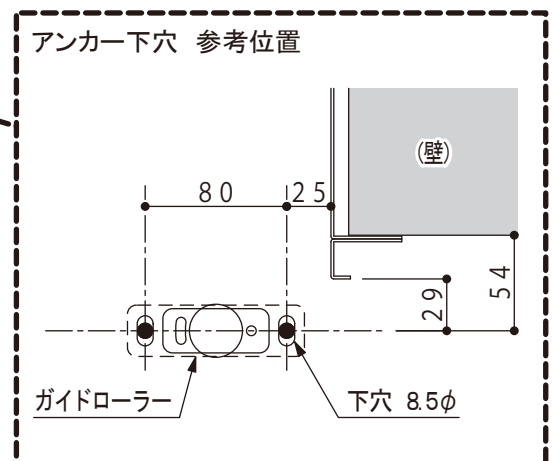
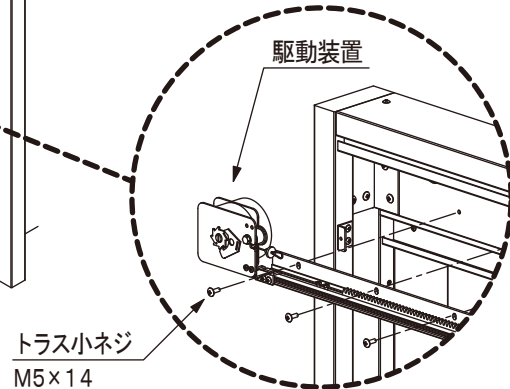
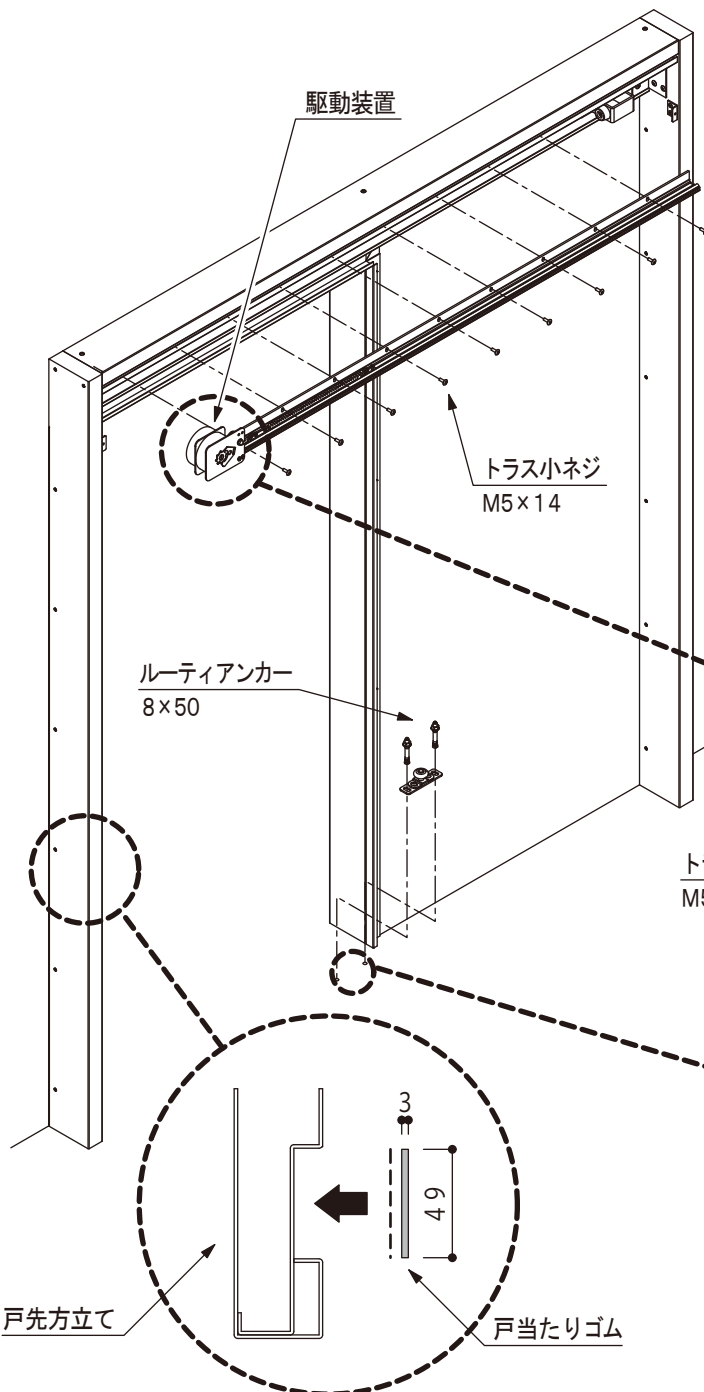
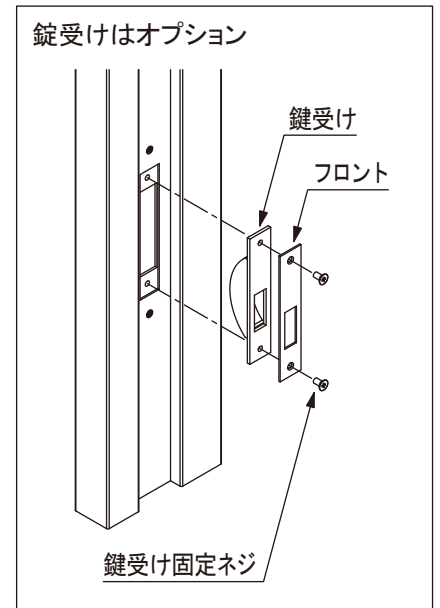
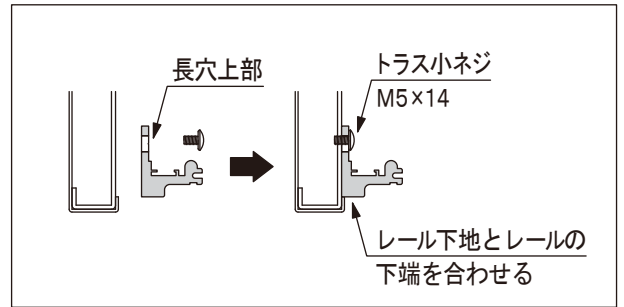
- 1) サニタリーカバーが付く場合
サニタリーカバーをレール下地の上に配置し、ネジで固定してください。



工事手順について

8. レールの組み付け

- 1) レールをネジでレール下地へ固定します。
ネジは150mmピッチで必ず長穴の上部に取付けます。
指定以外のネジを使うと干渉する恐れがあります。
- 2) 戸先方立ての溝部に戸当たりゴムを両面テープで貼付けます。
- 3) 錠前付き（オプション）の場合は錠受けとフロントを戸先方立てにネジで固定します。
- 4) アンカー下穴参考位置を参考にトガイドローラーを取付けます。



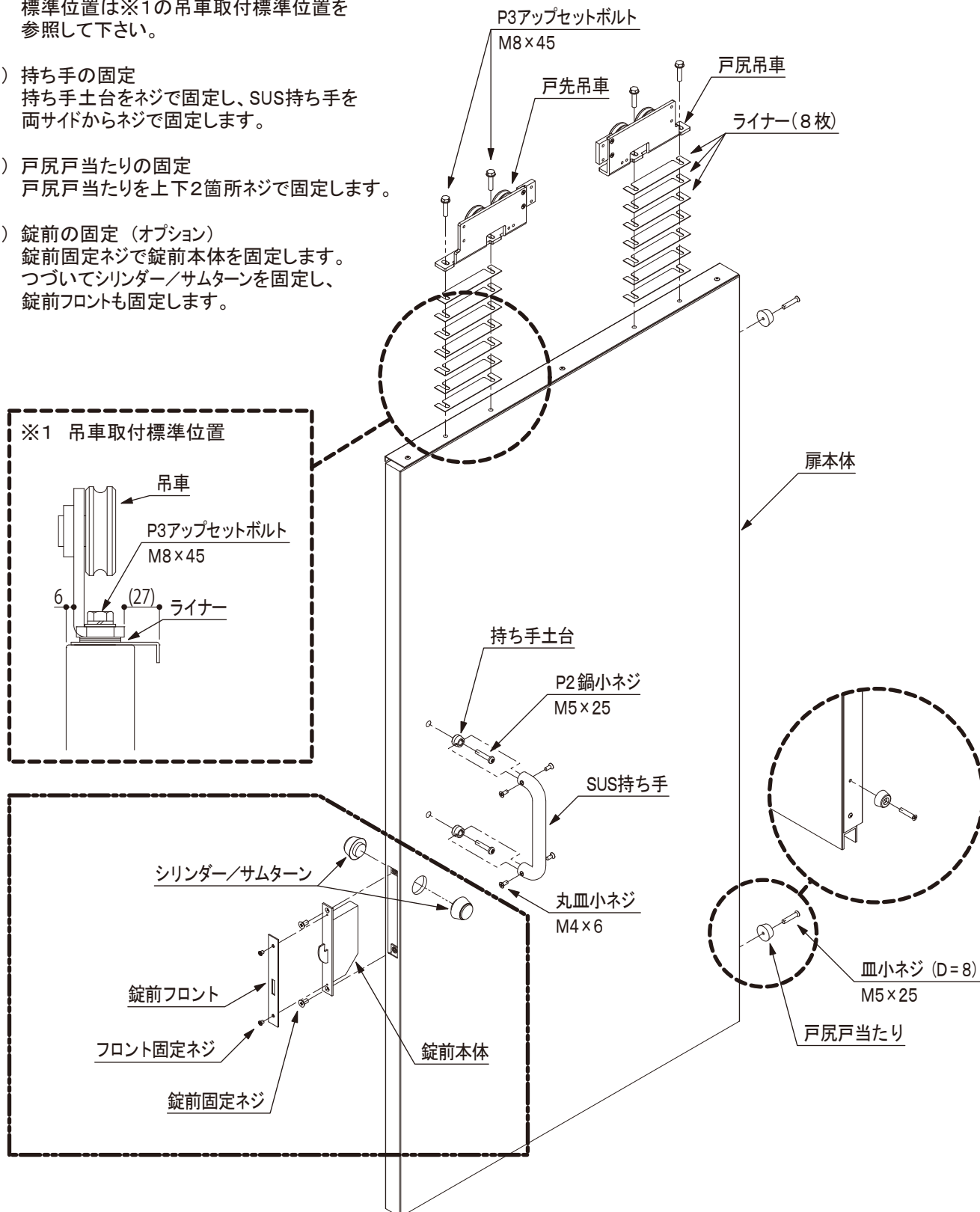
工事手順について

9. 扉の部材取付け

- 1) 吊車の固定
吊車は戸先と戸尻で形状が異なります。
アップセットボルトで固定し、ライナーをそれぞれ8枚づつ入れます。
吊車は扉に対して平行になるように取付けます。
標準位置は※1の吊車取付標準位置を参照して下さい。

- 2) 持ち手の固定
持ち手土台をネジで固定し、SUS持ち手を両サイドからネジで固定します。
- 3) 戸尻戸当たりの固定
戸尻戸当たりを上下2箇所ネジで固定します。

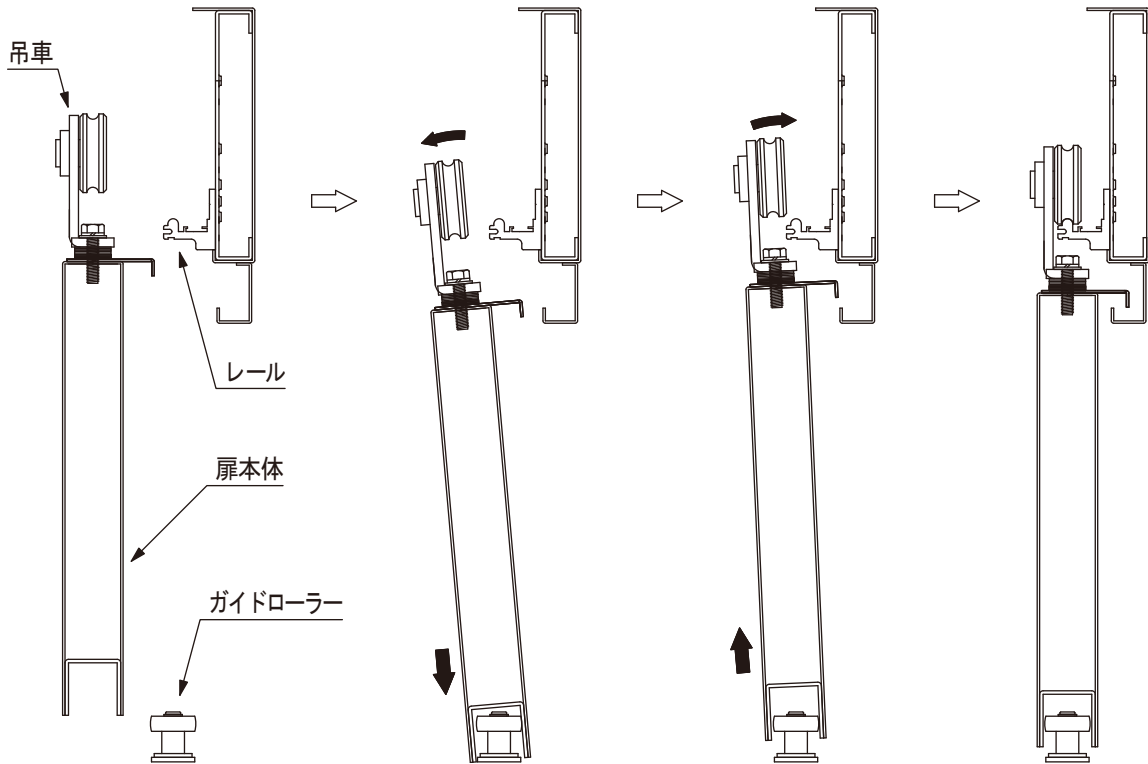
- 4) 錠前の固定 (オプション)
錠前固定ネジで錠前本体を固定します。
つづいてシリンダー/サムターンを固定し、錠前フロントも固定します。



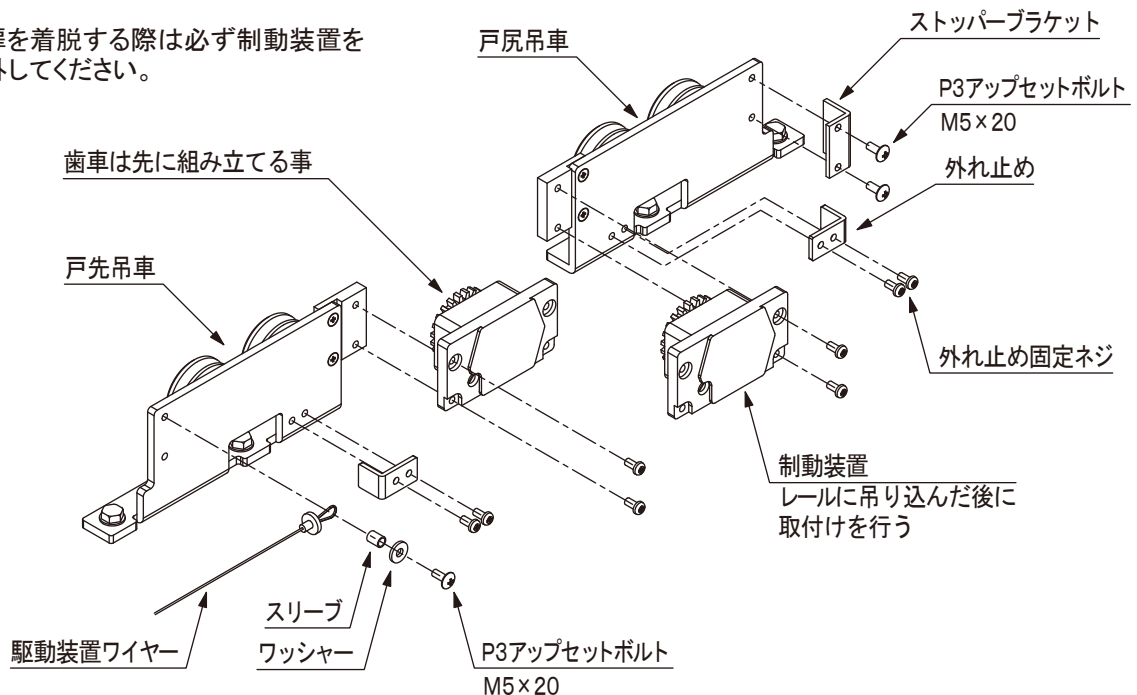
工事手順について

10. 扉の吊り込み

- 1) 吊車に付いている外れ止めと制動装置を外してください。
- 2) 扉本体を傾けガイドローラーをはめ込んでください。
- 3) 扉を持ち上げ吊車をレールに乗せてください。
- 4) 外れ止めと制動装置、駆動装置ワイヤー、ストッパーブラケットをそれぞれネジで固定してください。



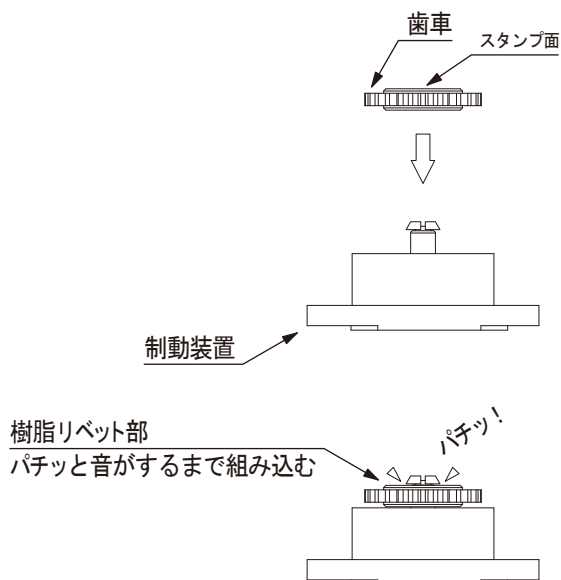
※ 扉を着脱する際は必ず制動装置を外してください。



工事手順について

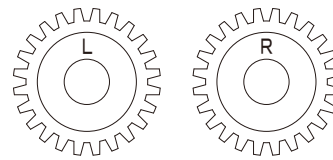
11. 制動装置の組立て

- 1) 開閉に支障がないか動作確認を行った後に、吊車の外れ止めの取付けを行なってください。
- 2) 吊車へ取付ける制動装置を組み立てます。
L・Rのスタンプが外側になるように装置の軸に取付けます。勝手を逆に組み立てると正常に作動しないので注意して下さい。
組み立て後、片側には力が軸に伝達されないため歯車が軽く回りますが、逆方向に回す場合は軸に力が伝わるので歯車の動きが重くなることを確認してください。
- 3) さきほどの制動装置と、駆動装置のワイヤーの取付けを行なってください。
破損の原因になるので制動装置の取付けはレール吊り込み後に行ってください。



※ 歯車の取付け向きに注意して下さい。

表・裏で「R」・「L」を切り替えます。



L=左、R=右

！ 注意！

右引きなら、制動装置2台とも「R」

左引きなら、制動装置2台とも「L」

※ R、Lを逆に付けたり、RとLの組み合わせで付けたりすると正常に作動しませんので注意してください。

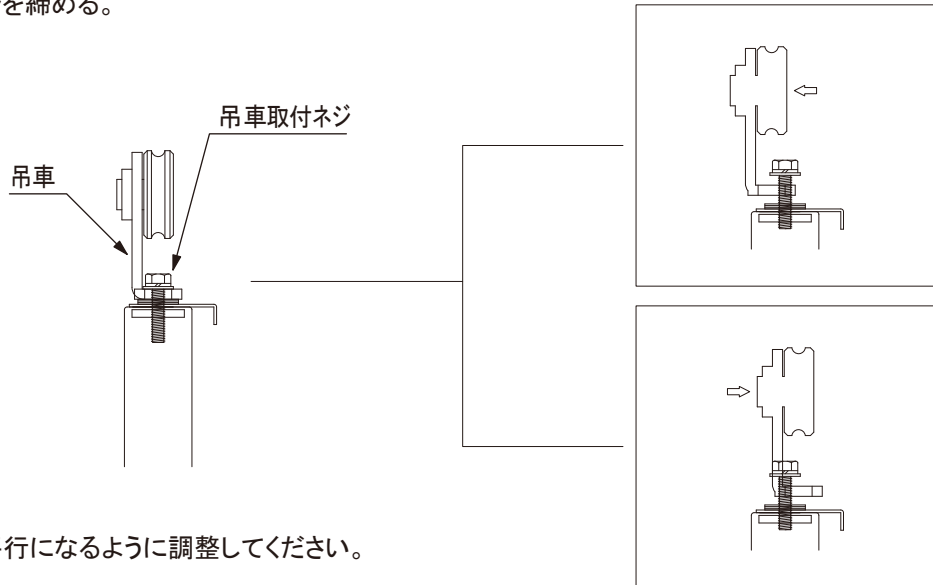
歯車を外す時は樹脂リベットを内側につまむことで取り外しが可能になります。

工事手順について

12. 扉の各種調整

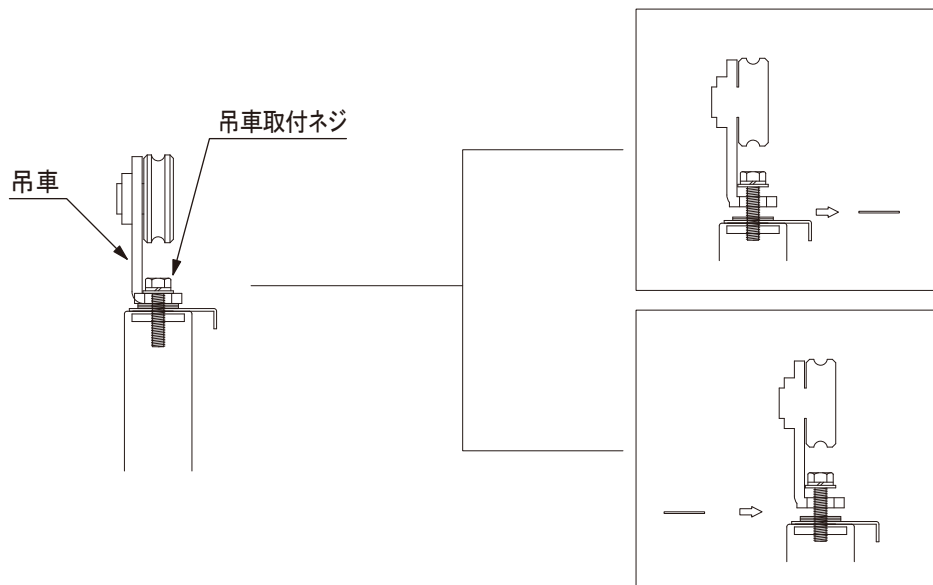
1) 吊車の前後方向の調整

- ① 吊車取付ネジを緩める。
- ② 吊車の長穴部を使い前後に調整する。
- ③ 吊車取付ネジを締める。



2) 吊車の高さ方向の調整

- ① 吊車取付ネジを緩める。
- ② 吊車と扉本体の間に入るライナーの量を調整する。
(ライナーを外すと扉の位置が高くなり、入れると低くなります。)
- ③ 吊車取付ネジを締める。



工事手順について

3) 駆動装置のトルクを調整

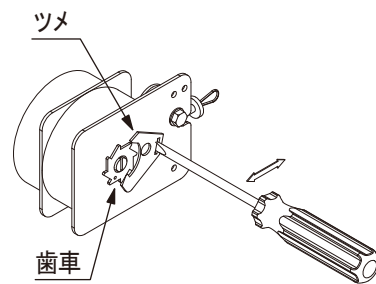
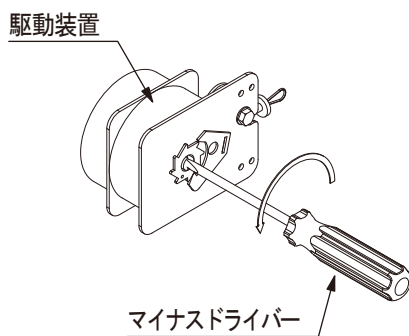
① トルクアップ

マイナスドライバーで駆動装置の歯車を反時計方向に回転させます。標準値 (= 最小値) から + 8 回転まで調整が可能です。

※ 巻き込みすぎは故障の原因になるので注意してください。

② トルクダウン

ツメを小刻みに振ってください。最小値が不明な場合は一旦、0 回転まで戻してから 1.5 回転ほど反時計回りに歯車を回転させてください。



最小値 = 1.5 巻き (単体引き出し力 15.5 [N])
最大値 = 9.5 巻き (単体引き出し力 30.5 [N])

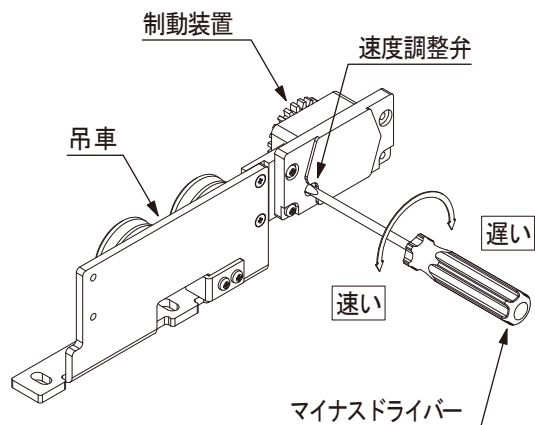
4) 閉鎖速度の調整

① 速度調整について

制動装置の速度調整弁をマイナスドライバーで調整する。

② 戸先、戸尻について

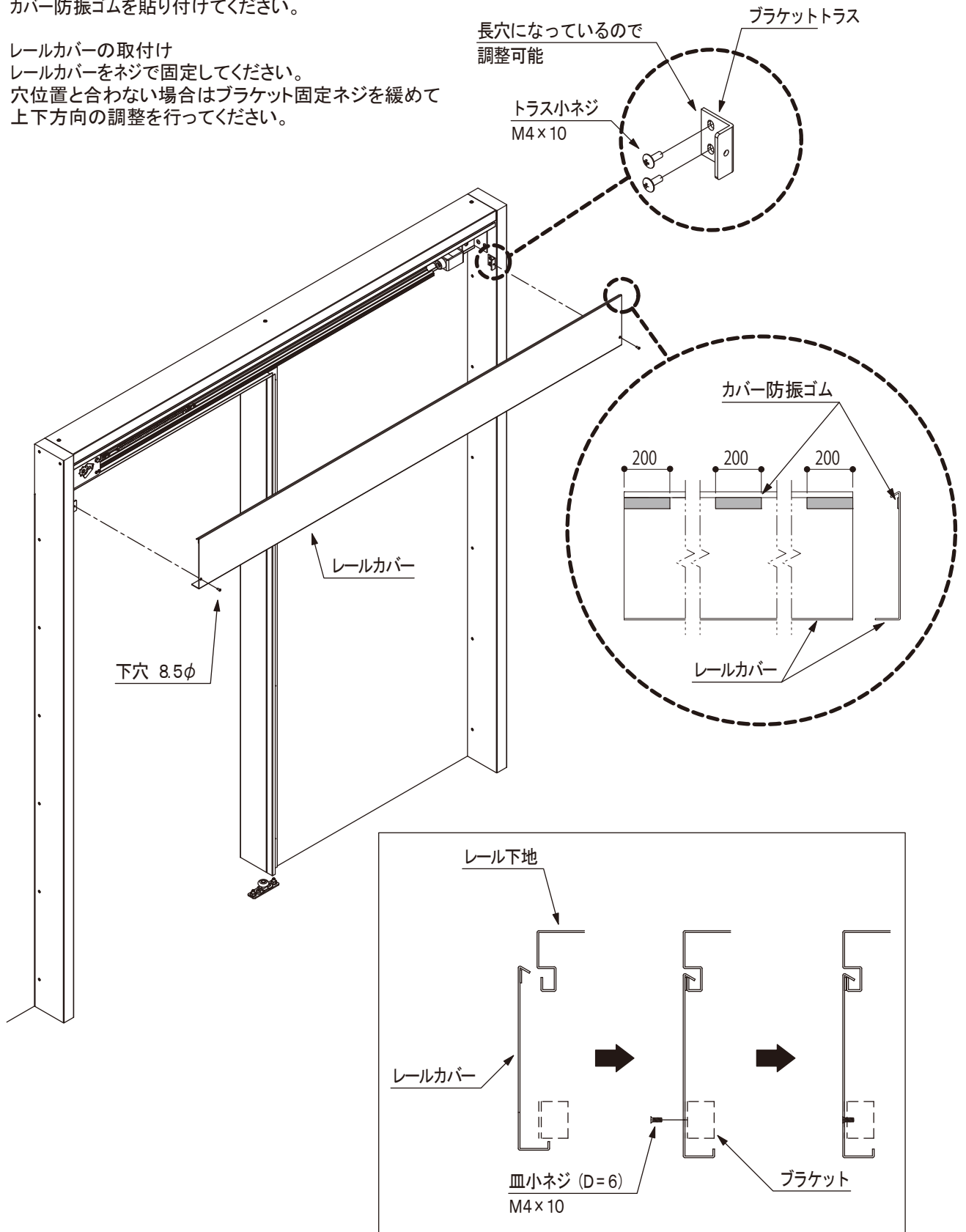
速度調整は戸先・戸尻の 2 台行います。
戸先側はほぼ全ての区間の制御。
戸尻は閉じる際の制御になります。



工事手順について

13. レールカバーの取付け

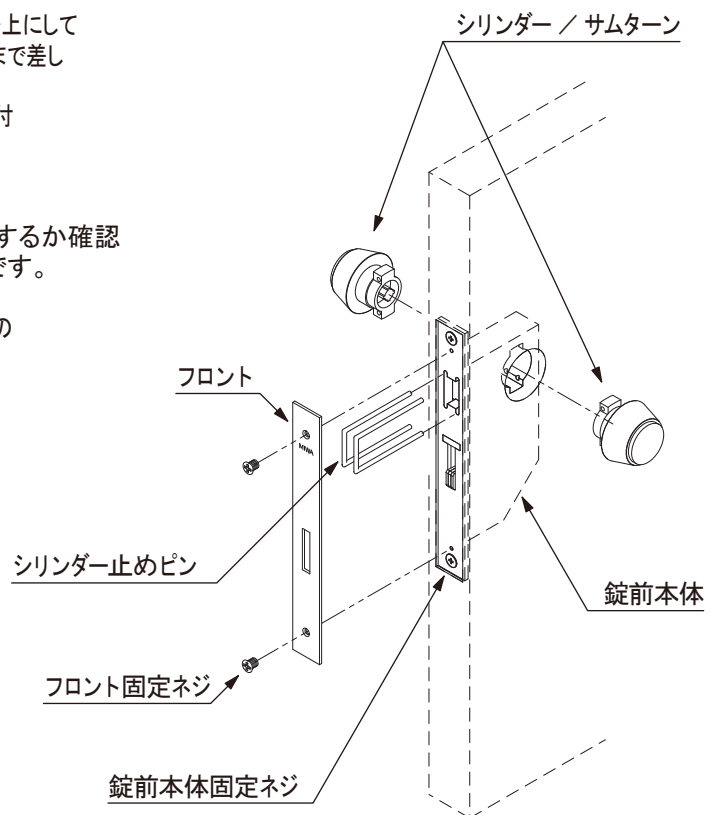
- 1) カバー防振ゴムの取付け
レールカバーの裏側（両端と中央の3箇所）に
カバー防振ゴムを貼り付けてください。
- 2) レールカバーの取付け
レールカバーをネジで固定してください。
穴位置と合わない場合はブラケット固定ネジを緩めて
上下方向の調整を行ってください。



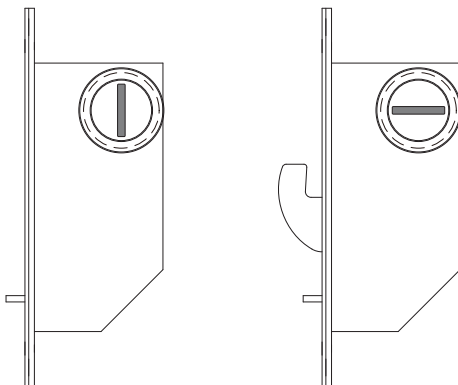
オプションについて

2. シリンダー／サムターンの交換方法（美和ロック FG錠）

- 1) まず、シリンダーにキーを差し込み、解錠状態にしてからフロント固定ネジを外します。
- 2) フロントを外すとシリンダー止めピンが見えます。
シリンダー止めピンを引き抜きます。
ピンは表・裏2本あるので外したい方にあるピンをマイナスドライバー等を使って引き抜いてください。
- ※ シリンダー止めピンを引き抜くときにシリンダー／サムターンが落下しやすいので、手で押さえながら引き抜いてください。
- 3) シリンダー／サムターンを引き抜いてください。
- 4) 新しいシリンダー／サムターンをMIWAの刻印を上にしてケースの穴に挿入し、シリンダー止めピンを奥まで差し込み固定します。
- ※ この時サムターンはツマミが垂直になるように取付けて下さい。
固定ネジを緩める必要はありません。
- 5) シリンダー／サムターンが正常に作動するか確認して再びフロントを取付けて作業終了です。
- ※ シリンダー／サムターン交換の場合は錠前本体の固定ネジを緩める必要はありません。



※ サムターンの摘みの向き



解錠時は垂直

施錠時は水平

オプションについて

3. シリンダー／サムターンの交換方法（ゴール SX錠）

- 1) まず、解錠状態にしてからフロント固定ネジを外します。
- 2) フロント外します。
- 3) サムターンのキャップ取付けネジを外し、キャップ付きサムターンを取外します。
- 4) シリンダー引きネジを外し、サムターン側の固定ピンを外した後、サムターンを引き抜いてください。
- 5) シリンダー側の固定ピンを外し、シリンダーを引き抜いてください。
- 6) 新しいシリンダー／サムターンを取り外したときの逆の手順で組み込んでください。
(このときシリンダーはキーを抜いた状態で取付けてください。サムターンは摘み部が、解錠時に縦向きになるように取付けてください。)
- 7) シリンダー／サムターンが正常に作動するか確認して再びフロントを取付けて作業終了です。

※ シリンダー／サムターン交換の場合は錠前本体の固定ネジを緩める必要はありません。

